

連節バスを活用した「高度化バスシステム」について

1 趣旨

本市では連節バスを活用した「高度化バスシステム」について、令和2（2020）年6月頃の運行開始を目指し、取り組みを進めています。

昨年10月にその概要をご説明しましたが、その後、具体的な停留所位置や工事箇所が固まってきましたので、改めてご説明いたします。

2 事業計画

(1) 運行事業者

横浜市交通局

(2) 停留所位置と西区内の工事箇所について（別紙参照）

横浜駅東口を起点とし、水際線沿いを中心に来街者が利用する主要な施設を結び山下ふ頭を終点とするルートとします。ルート、停留所位置と西区内の工事箇所は別紙のとおりです。

(3) 運行時間帯・運行頻度

ア 運行時間帯

概ね10時台から19時台まで

イ 運行頻度

令和2（2020）年6月頃の導入時には連節バス4台で1時間あたり2～3本

(4) デザイン・名称

水際線沿いを疾走する青い連節バスをイメージさせる「**BAYSIDE BLUE**」
とします。

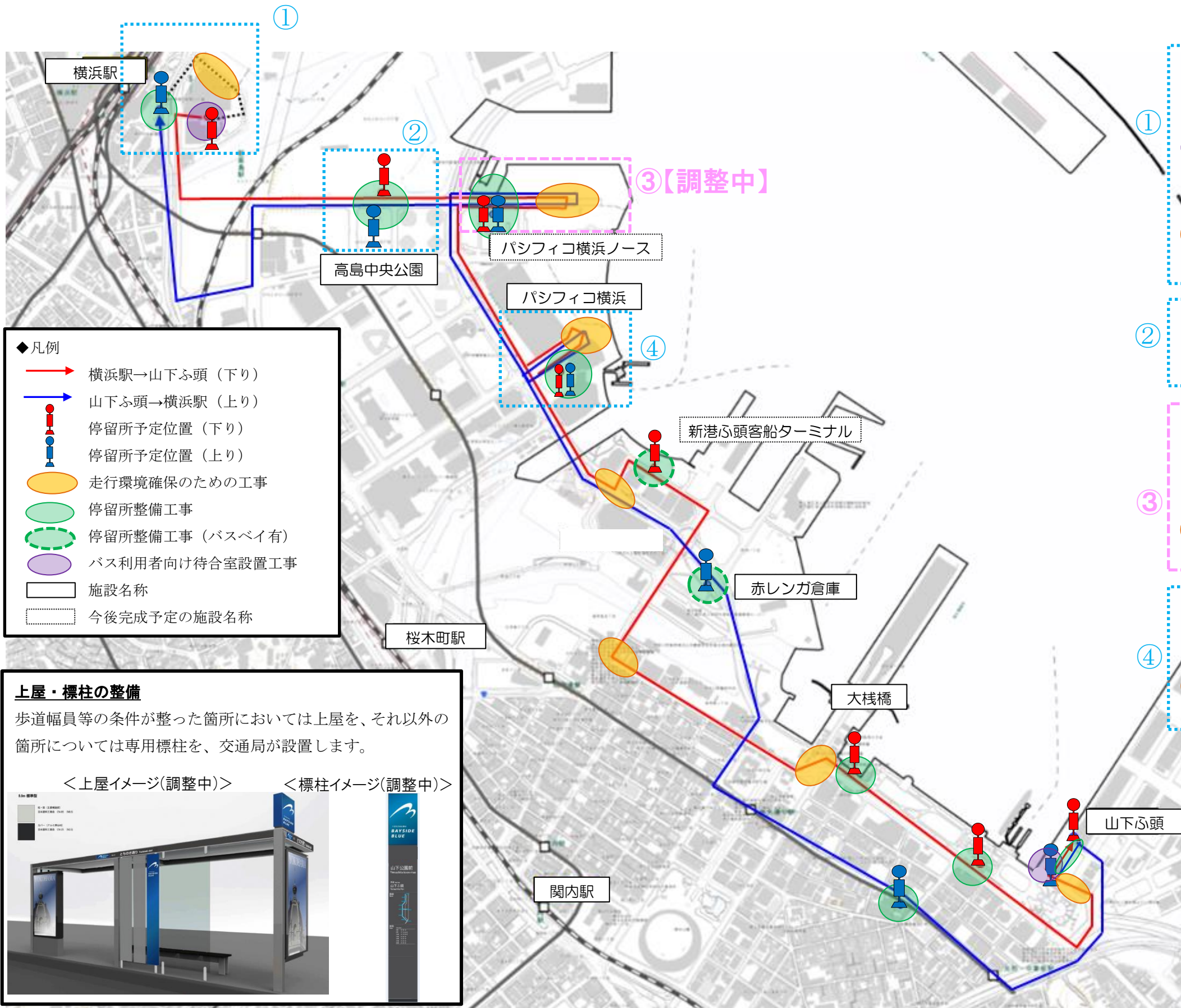


図1 車両デザインのイメージ

3 事業スケジュール

令和2（2020）年6月頃の運行開始に向けて、今年度下半期の工事を想定しています。

工事については、区土木事務所や港湾局等が発注を行い、工事箇所周辺の皆様には、別途詳細な工事時期等をお知らせいたします。



①

- 横浜駅東口交番前の既存バス停の後方に連節バス降車用のバス停留所の追加等の整備工事を行います。
- 横浜新都市ビル内の横浜駅東口バスターミナルに、連節バス乗車用バス停留所を設置します。また、バス利用者向け待合室を設置することを検討しています。
- 連節バスが走行できるように、車道の曲線部を一部拡げる工事を行います。

②

- 高島中央公園付近に連節バス上り・下りバス停留所の整備工事を行います。

【調整中】

- パシフィコ横浜ノース付近に連節バス停留所の整備を検討しています。
- 連節バスが転回できるように、転回路の一部を拡げる工事を行う予定です。

④

- パシフィコ横浜敷地内で、連節バス停留所の整備工事を行います。
- 連節バスが転回できるように、転回路の一部を拡げる工事を行います。

◆凡例

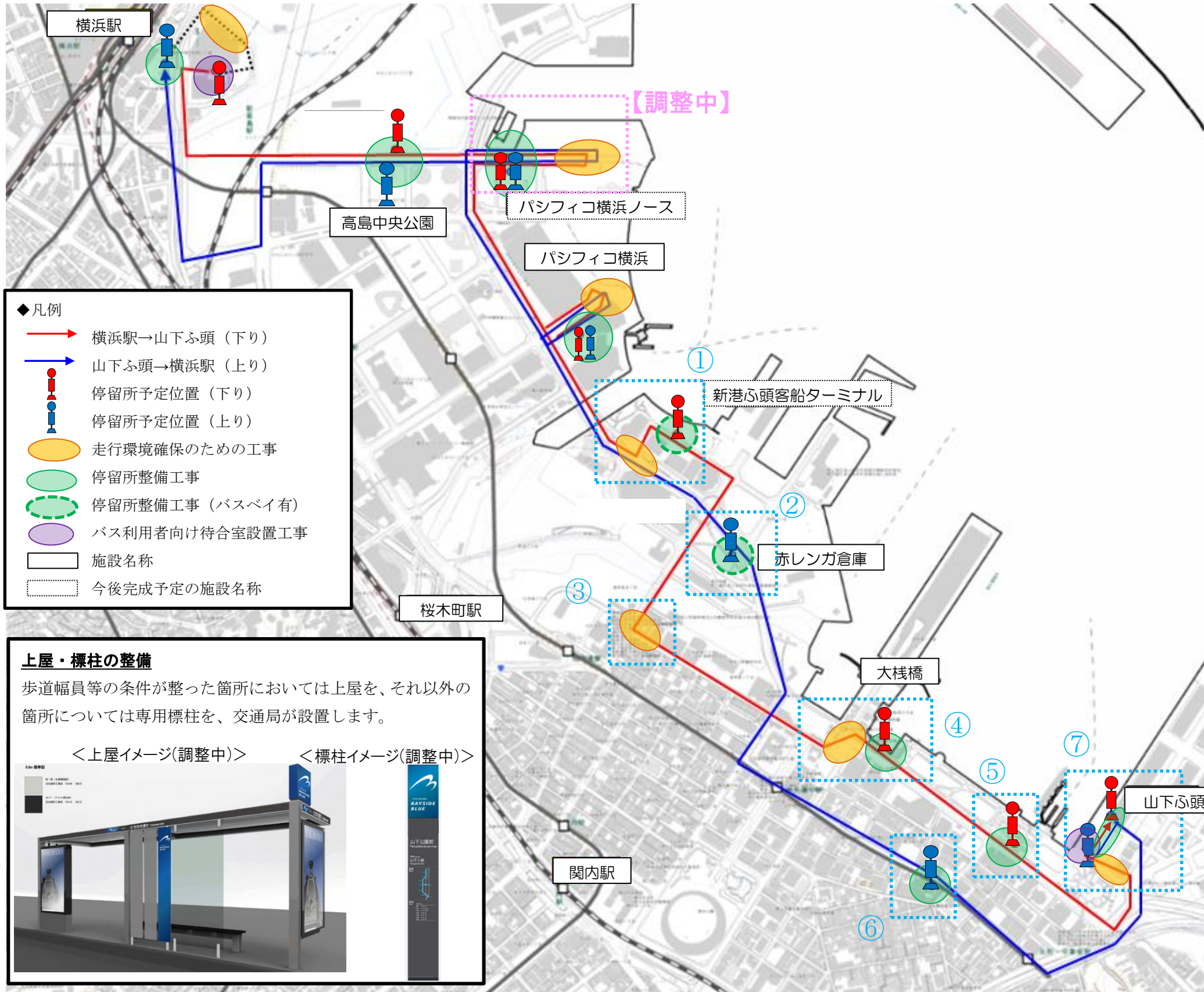
- 横浜駅→山下ふ頭（下り）
- ← 山下ふ頭→横浜駅（上り）
- 停留所予定位置（下り）
- 停留所予定位置（上り）
- 走行環境確保のための工事
- 停留所整備工事
- 停留所整備工事（バスベイ有）
- バス利用者向け待合室設置工事
- 施設名称
- 今後完成予定の施設名称

上屋・標柱の整備

歩道幅員等の条件が整った箇所においては上屋を、それ以外の箇所については専用標柱を、交通局が設置します。

<上屋イメージ(調整中)> <標柱イメージ(調整中)>

《参考》中区



◆凡例

- 横浜駅→山下ふ頭（下り）
- ← 山下ふ頭→横浜駅（上り）
- 停留所予定位置（下り）
- 停留所予定位置（上り）
- 走行環境確保のための工事
- 停留所整備工事
- 停留所整備工事（バスベイ有）
- バス利用者向け待合室設置工事
- 施設名称
- 今後完成予定の施設名称

上屋・標柱の整備

歩道幅員等の条件が整った箇所においては上屋を、それ以外の箇所については専用標柱を、交通局が設置します。

<上屋イメージ(調整中)> <標柱イメージ(調整中)>

- ① カップヌードルパーク入口交差点で、連節バスが走行できるように、車道の一部広げる工を行います。
- ② カップヌードルパーク付近で、連節バス停留所の整備工を行います。
- ③ 赤レンガ倉庫付近で、横浜駅方面（上り）側に連節バス停留所の整備工を行います。
- ④ 海岸通四丁目交差点で、連節バスが走行できるように車道の区画線位置の変更等の工を行います。
- ⑤ 開港広場前交差点で、連節バスが走行できるように、車道の一部広げる工を行います。
- ⑥ シルクセンター向かいの既存バス停「大栈橋」付近で、連節バス停留所の整備工を行います。
- ⑦ ホテルニューグランド向かいの既存バス停「山下公園前」付近で、連節バス停留所の整備工を行います。
- ⑧ 中華街東門交差点近傍の既存バス停「中華街入口」付近で、連節バス停留所の整備工を行います。
- ⑨ 山下ふ頭内で、バス利用者向けバス待合室の設置工を行います。
- ⑩ 連節バス停留所の整備工を行います。
- ⑪ 連節バスが走行できるように、車道の一部広げる工を行います。